

連続ブックフェア「大事に売っていきたい本」開催記念 トークイベント

連続企画・第1回

- 日時： **3月13日(水)** **18時開場・18時半開演**
- 場所： **岩波セミナールーム** (岩波書店アネックス3F)千代田区神田神保町2-3
- 問合せ・事前申し込み： 岩波ブックセンター信山社 03-3263-6601
- 入場： 無料
- 定員： 40名 (お電話予約をお願いします。定員になりましたら受付を終了します)
- 共催： 岩波ブックセンター信山社 + 「書物復権の会」

[テーマ]

古典再生術

～U・エーコの軌跡をたどりながら～

ウンベルト・エーコの名前を聞いて、日本の(あるいは世界の)読者は、世代によって思い描くイメージは大きく異なっていることでしょう。中世思想の研究者、無類の愛書家、記号論の牽引者、そしてベストセラー作家……。ヨーロッパを代表する「知の巨人」、その仕事の軌跡をたどってみると、どんなテキストが、どのように読み継がれるべきなのか、という私たちにとっても重要な問いが、浮かび上がってくるようです。21世紀は「古典不在の世紀」になってしまうのか。書物の今後を考える多くの方のご参集をお待ちいたします。

[講師]

和田忠彦氏

■プロフィール■

東京外国語大学大学院教授。イタリア文学者。1952年生まれ。著書に『ヴェネツィア 水の夢』『声、意味ではなく』『ファシズム、そして』、訳書にカルヴィーノ『むずかしい愛』『アメリカ講義』、タブッキ『時は老いをいそぐ』など多数。2月刊の岩波文庫『ウンベルト・エーコ 小説の森散策』も氏の訳による。